

市立保育所3園(中央、鶴見、内竈)

依然として定員割れ状態!

《市立保育所の現状(9月1日現在)》

保育所名	定員 (入所児童数)	待機 児童数
中央保育所	90人(82人)	6人
内竈保育所	60人(57人)	4人
鶴見保育所	90人(79人)	11人
計	240人(218人)	21人

昨年3月末に非常勤保育士19人が一斉に退職したことにより、定員どおりの児童を預かれないという異常事態になっている市立保育所。平野市議は昨年6月議会で「保育士の待遇改善は急務」と訴えました。この指摘を受けて市当局は、今年度、月額16万円の賃金を17万円に引き上げましたが、今なお左表のように異常事態が解消されていません。平野市議は今議会でも「非常勤保育士の一層の待遇改善とともに、正規職員の増員が必要」と強調しました。しかし市当局は「非常勤保育士は5時間程度の短時間勤務もできるようなことにより何とか確保し、児童の入所待ちを解消したい」と述べるにとどまりました。

市立3園は 拠点保育所

平野市議は、「10数ヶ所あった市立保育所を民営化する際、市は、3園を拠点保育所として位置づけると強調した」と紹介しました。

その拠点保育所が、保育士不足で定員割れで、さらに入所待ちが21人もいるという異常事態は許されない。行政の責任が問われている」と指摘しました。



彼岸花

認可保育所(民間)の保育士には 3年間に34万円以上の賃上げ!

【認可園への運営費負担金】
H27~29の3年間に
約9億円(45%)も
増えました。

《H26》 19億9,738万円



《H29》 28億9,080万円

平野市議は、上記の数字を示して
「この中の処遇改善加算金はいくらか」と質問し、右の答弁となりました。

平野市議は8月末に、県内の共産党地方議員団の一員として上京し、認可園の保育士の処遇改善についてのレクチャーを受けました。
9月議会では国の資料をもとに「平成27~29年度の3年間の保育士の賃金はどの程度改善されたか」と質問しました。これに対して子育て支援課長は「概算ですが、公定価格分を除いて年額で一人あたり約34万円程度改善されています」と答弁しました。
市内認可園の保育士賃金が実際に改善されているかどうかの検証が必要です。

大分県が 保育士にアンケート調査

- ◆大分県は今年5月、「保育現場の働き方改革に関する調査」を実施しました。
- ◆対象は6,568人(保育士資格をもつ14,488人のうち、26~65歳、かつ登録後7年以上の者)に、ダイレクトメールを送付した。
回答は614人(9.3%)。あまりにも少なすぎます。
- ◆それでも現役保育士に「働く上での悩みや不満は？」の問いに対する回答は……
 - ①給与・手当(52.9%)
 - ②有給休暇が取れない(32.5%)
 - ③仕事と家庭の両立、長時間労働など(23.7%)でした。
- ◆平野市議は「別府市としても本格的な調査を」と要望しました。

それでもまだ
保育士の労働条件は
大幅な改善が必要です。